

岩原川エリアみらい計画（案）

目 標

水と緑と賑わいのある都心のオアシス

方針1

安全で快適な
環境を整備する

方針2

賑わいのある
通りをつくる

方針3

エリア周辺との
繋がりを強化する

- ▲岩原川が人工的で親しめない
- ▲岩原川の水量が少なく、ごみやにおいがする
- ▲道が歩きにくい（車道が狭い、遊歩道がない等）
- ▲危ない（大雨災害、あびき現象等）
- 川や公園がある
- 稲佐山が良く見えるようになった
- 視界が広がり、明るい印象になった
- ☆歩きたくなる道にする（ウォーキング等）
- ☆車を通りやすくする
- ☆川を自然に戻す
- ☆川の水をきれいに、ごみを減らす
- ☆子供たちが遊べる川や公園の整備
- ☆川沿いに緑を増やす
- ☆休んだり、集まったりできる場所がほしい
- ◇みんなが川と道で憩えるエリア
- ◇川を自然に戻して人がゆっくり歩いたり休める賑わいのあるエリア
- ◇子供から老人まで安心して散歩できるエリア
- ◇生き物たくさん美しく遊べる川があるエリア
- ▲賑わいがなくなった（魚市移転、駐車場化）
- ▲道路の景観が良くない（通り・橋）
- 活気がでそう（周辺整備により）
- ☆若い人、家族、外国人など様々な人が集まる場所にしたい
- ☆新しい町並みを作りたい
- ☆見通しの良い町並みを守りたい
- ◇地元の方が開いている素敵なお店があるエリア
- ◇木・川・緑あふれる人が集まるエリア
- ◇昼は安らぐ、夜は心おどるエリア
- ◇緑豊かなおしゃれな店舗で統一されたデザインのエリア
- ◇イベントが長崎らしく、お店があり人が集まるエリア
- ◇みんなが川と道で憩えるエリア
- 長崎駅が近い

ワークショップの成果

【記号：だめね（▲）、いいね（○）、もっとこうして（☆）、10年後の将来像（◇）】

方針1

安全で快適な環境を整備する

[1-1] 災害に強い岩原川の整備を進めます。

[1-2] 岩原川に流入するごみや汚濁水を減らし、緑の配置や生物に配慮した河川整備を進めます。

[1-3] 人も車も安全にゆったりと過ごすことができる道路を整備します。

[1-4] 住み続けられる住環境整備を進めます。

[1-5] 出店しやすい商環境整備を進めます。

[1-6] 魅力ある公園の整備を進めます。

方針2

賑わいのある通りをつくる

[2-1] 通り沿いの店舗利用を進め、賑わいがある通りを目指します。

[2-2] 通り沿い建物について、デザインに配慮したまちなみ形成や壁面緑化などの緑を増やす取り組みを進めます。

[2-3] 朝市やお祭りなどの地域参加のイベント開催を推進します。

方針3

エリア周辺との繋がりを強化する

[3-1] エリア周辺と動線を調整し、エリア間をスムーズに移動できるようにします。

[3-2] 長崎駅や新県庁舎からまちなかにつながるエリアの入り口に緑を配置します。

[3-3] 主要な場所にランドマークとなるわかりやすい案内板を設置します。